



11/20 (日) **エコライフを考える**

「すてないで！ 生かそうよ 大切な資源！」をテーマに、「第8回わくわくリサイクルまつり」が市リサイクルプラザで開催されました。

これは、ごみの減量化や資源化などに取り組むことによって、人と環境に優しいまちづくりを目指して毎年開催されているものです。

同イベントでは、恒例となったリユース家具・自転車の抽選販売を始め、ダンボールを使った堆肥作り、親子で楽しめる体験教室などが行われ、にぎわいを見せました。参加者は、「ごみとして捨てないで、リサイクル品として再利用するのは、とても素晴らしいと思います」と、話していました。



11/24 (木) **美優さん お帰いなさい!!**

拘束型心筋症のために米国で心臓移植手術を受けた要美優さん(神森中2年生)が無事帰郷し、父俊明さんとともに市長を訪れ、帰郷した報告と、これまでの支援についてお礼を述べました。

父俊明さんは「昨年、病気が判明してからは日々が長く感じました。しかし今年に入ってからは、皆様のおかげで奇跡が起こり、手術をすることができました。とても感謝しています」と、話しました。

美優さんは同日から約1年半ぶりの学校に通い始め、修学旅行にも参加を予定しており、その話になるとうれしそうな表情を浮かべていました。



11/25 (金) **輝くたご市民賞 第7号表彰**

11月に福岡県で開催された「第28回日本身体障害者水泳選手権大会」の女子50m平泳ぎと同50m自由形で優勝し、金メダルを獲得した本市在住の国頭藍子さんが第7号の輝くたご市民賞を受賞し、その表彰式が行われました。

国頭さんは「優勝して正直驚いています。コーチや練習施設の提供、応援してくれた方々のおかげです。更なる目標に向けて頑張ります」と、挨拶しました。



11/26~27 (土~日) **プロの技に 大歓声!**

日本ハンドボールリーグの公式戦や、ハンドボールクリニックなどが行なわれた「浦添市ハンドボール王国まつり」が市民体育館で開催されました。

公式戦ではプロ4チームが、高さやスピードのあるハイレベルな試合を展開し、会場を沸かせました。また、琉球コラソンの選手たちによる市内小学生を対象としたクリニックでは、プロによる直接指導とあって、参加者は真剣な表情で熱心に聞き入っていました。

本市は、平成16年に「浦添市ハンドボール王国都市宣言」をしており、また市内の小中高校のチームでは、これまでで全国大会等で数多くの上位入賞実績を挙げています。



11/19 (土) **児童センターの遊びを体験**

市内児童センターの利用者の交流・親睦を図り、また来場者に児童センターでの遊びを体験してもらい、その利用促進を呼び掛けようと「第7回児童センターフェスティバル」が市多目的屋内運動場で開催されました。

フェスティバルでは、様々なゲームやスポーツ、ペーゴマなどの昔遊び、親子工作など、多種多様な遊びや体験コーナーがあり、集まった子ども達は、どれにしようかとわくわくした表情で会場内を回り、楽しんでいました。

市内には、各小学校区ごとに児童センターを設置しており、全11施設有ります(P16参照)。是非ご利用ください。



11/22 (火) **人と人のつながいを大切に**

人権問題に対する正しい認識を広めようと、「未来を担う子ども達へ!~自転車世界一周で夢への挑戦~」をテーマに「人権講演会」が市たごホール大ホールで開催されました。

講師には、4年以上に渡る自転車世界一周の旅や、国際協力活動の分野で知られる坂本 達氏を迎え、旅を通して学んだことなどをスライドを交えながら、紹介しました。

また、「人とどう関わるかで、自分への対応が変わってくる。相手の大切なものを大切にすること、挨拶や感謝の気持ちを表現することは人権の擁護に結びつくものである」と、来場者にメッセージを送りました。



11/10 (木) **浦添市消防団 初優勝!**

10月27日に中城村の沖縄県消防学校で開催された「沖縄県消防操法大会」において、「小型ポンプ操法」男女部門でそれぞれ優勝を果たした浦添市消防団が、市長を訪れ、その報告を行いました。

この大会は、消防団の技術向上と士気の高揚を図るために行われ、各地区代表と放水活動の確実性やタイムを競い、中部地区代表として出場した浦添市消防団は、種目別で今回が初優勝となりました。

本市には37人の消防団員がいて、災害現場において消防職員の後方支援や資機材を使用した消火活動などを行うために、日々訓練を実施しています。